PN J613-M0001-00 Rev.B 041115

取扱説明書

CentreCOM
100、200、270、440 シリーズ

アライドテレシス株式会社

この度は、CentreCOM 100、200、270、440 シリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本取扱説明書をお読みになり、正しい設置を行ってください。

製品概要

C100シリーズは、最も標準的なシングルポートトランシーバーです。C200シリーズは、C100 シリーズに送信、受信、などの表示ランプをつけたものです。C270、C440 シリーズは、それぞれ 2 ポート、4 ポートのトランシーバーで送信、受信などの表示ランプが付けられています。C100、C200、C270、C440 シリーズの製品名は、付属するタップ：

05　タップ無し
06　イエロータップ
07　BNC-T 字型タップ
08　N 型タップ
09　BNC 垂直タップ

の違いにより決定されます。例えば、イエロータップ付きの C106 の場合、下記のようになります。

100 + 06 = 106

ご使用になる前に

まず、**SQE TEST SWITCH (HEARTBEAT)** を設定してください。図 1 に、SQE TEST SWITCH の位置を示します。図は、C100 シリーズの場合ですが、他のシリーズも類似の箇所にあります。接続する DTE に対して、SQE TEST が必要な場合には ON (1) に、不必要の場合には OFF (0) にします。トランシーバーからタップ部分を外し、先の尖ったものを使用し、しっかりとどちらかの位置に設定してください。ハブ、リピータのステーションポート (AUI) に接続して使う場合、必ず OFF に設定してください。よく分からない場合は、OFF でご使用ください。工場出荷時設定では OFF となっています。
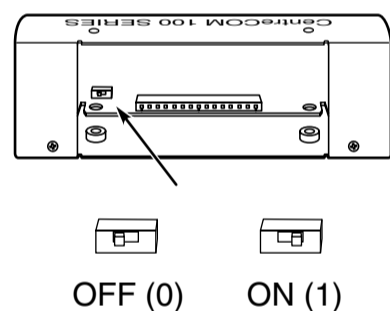
図 1　SQE TEST SWITCH の位置

イエロータップの取り付け

C106、C206、C276、C446 のイエロータップ取り付け手順を説明します。イエロータップは、下記の 6 点の部品から構成されています (図2)。

- 締め付けねじ
- クランプ
- タップ本体
- シールド接点 (2 個)
- 芯線接点
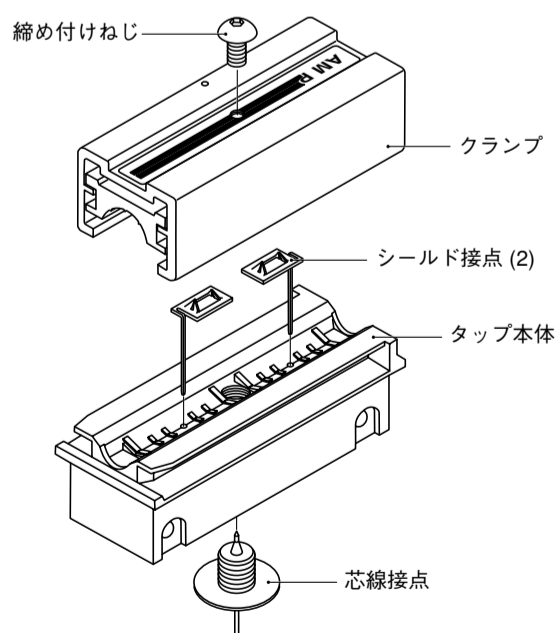
図 2　イエロータップ
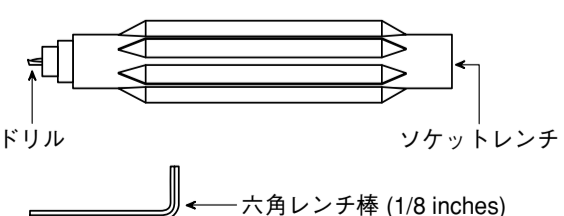
図 3　イエロータップ取付工具

タップを取り付けるためには、専用の工具が必要です (図 3)。木工用キリなどで代用することはできません。この工具は、弊社にて「イエロータップ取付工具」という名称で販売しています。

① トランシーバーの取り付け位置を決定してください。10BASE5 規格では、2.5m の整数倍ごとの距離でトランシーバーを取り付けるように規定しています。

② シールド接点 2 個をタップ本体に取り付けてください (図 2)。
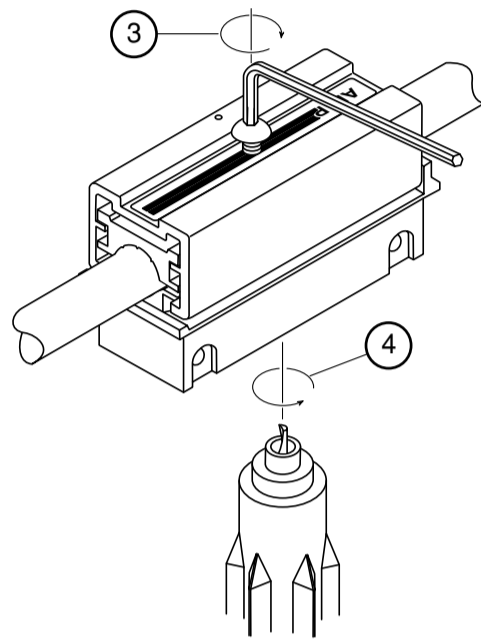
図 4　タップ本体取り付けと穴開け

③ タップ本体とクランプをスライドさせて、イエローケーブルを挟み込み、締め付けねじを締めてください (図 4)。シールド接点がケーブルに食い込み、ケーブルの外部導体 (シールド) に接続されます。

④ タップ取付工具により穴開けを行います (図 4)。タップのドリルは、ケーブルの外皮、外部導体を破り、内部の絶縁層まで届きます。但し、芯線には届きません (図 5)。

⑤ タップ本体内部、ドリル穴に金属片、削りかすが残らないように払い落してください。ドリル穴がきれいな円筒形になっていることが重要です (図 5)。
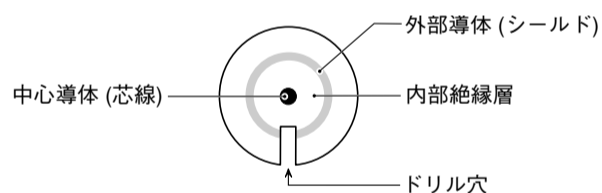
図 5　ドリル穴（イエローケーブル断面図）

⑥ タップ取付工具のソケットレンチを使用し、芯線接点を取り付けます (図 6)。ソケットレンチが回らなくなるまで締めてください (締めすぎないでください)。接点はケーブルの内部絶縁層を突き破り、中心導体に接続されます。
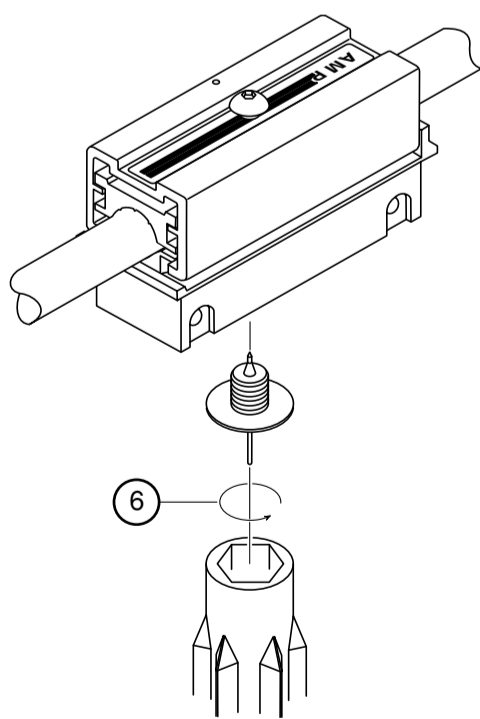
図 6　芯線接点取り付け

⑦ タップ本体の 3 本のピンがタップ本体に対して直角となっていることを確認し、トランシーバー本体を取り付けます。トランシーバー本体がタップ本体に簡単に取り付けられない場合、ピンが曲っていたり、斜めになっている可能性があります。その場合、無理に押し込もうとせずに、ピンを垂直に直してから取り付けてください (図 7)。

⑧ トランシーバーの前面から固定ねじ (2 本) を取り付けてください (図 7)。
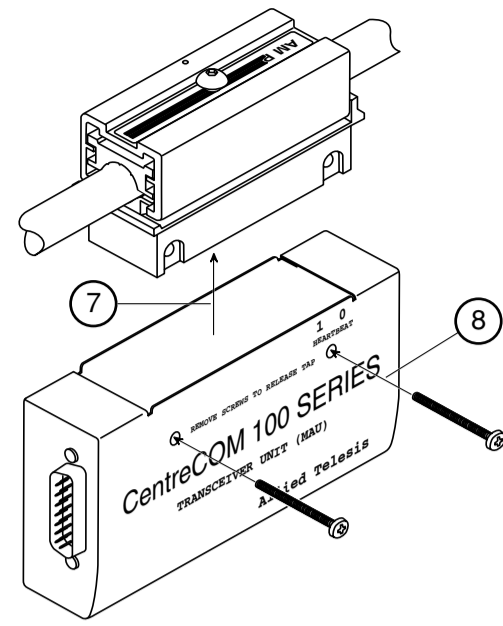
図 7　トランシーバー本体取り付け

トラブルシューティング

イエローケーブルにおけるトラブルの多くは、タップ取り付けに関するものです。トラブルが発生した場合、テスターを使用して、次の点を確認してください。

(1) タップ本体の 2 つのシールド接点の間の抵抗が 0 Ωでなければなりません。∞Ωを示す場合、シールド接点の一方または両方がイエローケーブルに接続されていません。

(2) イエローケーブルの両端にターミネーターが取り付けられていれば、芯線接点とシールド接点の間の抵抗が約 25 Ωとなります (イエローケーブルが長い場合、25 Ωよりやや大きな数値となります)。0 Ωを示す場合、芯線接点とシールド接点が短絡しています。∞Ωを示す場合、芯線接点またはシールド接点がイエローケーブルに接続されていません。

その他のタップの取り付け

① タップ本体の 3 本のピンがタップ本体に対して直角となっていることを確認し、トランシーバー本体を取り付けてください。トランシーバー本体がタップ本体に簡単に取り付けられない場合、ピンが曲っていたり、斜めになっている可能性があります。その場合、無理に押し込もうとせずに、ピンを垂直に直してから取り付けてください。

② トランシーバーの前面から固定ねじ (2 本) を取り付けてください。

③ それぞれのタップの形状に適合したイーサネットメディアのケーブルを接続してください (図 8)。ただし、BNC 垂直タップの場合は、別途 BNC T 字型バルブが必要です。また、10BASE2 (BNC タップ) において本トランシーバーがケーブルの最終端に位置する場合、T 字型バルブ、T 字型タップの一方に BNC ターミネーターを取り付けなければなりません。
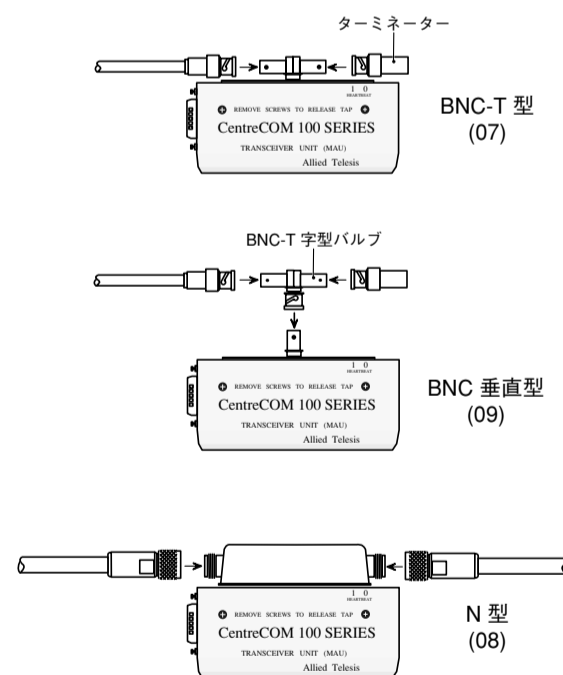
図 8　その他のタップ取り付け

CentreCOM 447X

C447X は、C447 とターミネーター（2 個）をセットにしたものです。図 9 のように C447 本体の T 字型バルブの両端にターミネーターを取り付けることにより、4 ポートの無電源マルチポートトランシーバーとなり、単独で 4 台までの機器（パソコンやワークステーションなど）からなる LAN を構築することができます。
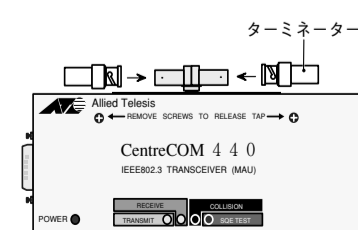
図 9　C447 に 2 個のターミネーターを取り付ける

トランシーバーケーブル取り付け

トランシーバー本体の AUI コネクターにトランシーバーケーブル (AUI ケーブル) を差込み、ケーブル側のスライドロックで固定してください。
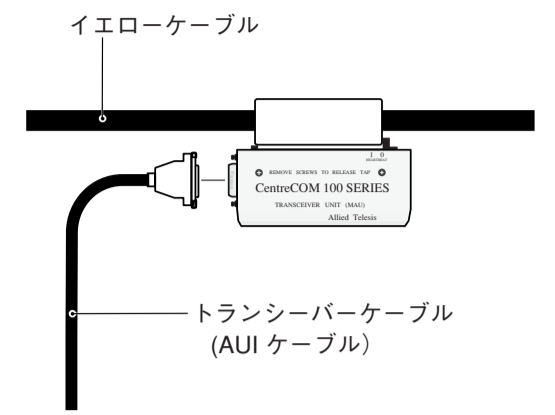
図 10　トランシーバーケーブル

C100、C200 のランプ

本トランシーバーが接続されている装置の電源を投入してください。本トランシーバーに電源が供給されると HEARTBEAT STATUS AND PWR INDICATOR (ランプ) が点灯します。このランプは、C100、C200 ともに右側面にあり、SQE TEST スイッチが ON の場合は黄色に、OFF の場合は緑色に点灯します。本トランシーバーに電源が供給されていない場合は、点灯しません。以下に、C200 のみが持つランプについて説明します。

XMIT (黄)：DTE がネットワークへパケットを送信しているときに点灯します。

RCV (黄)：DTE がネットワークからのパケットを受信しているときに点灯します。

HB (黄)：トランシーバーが DTE に HEARTBEAT 信号を返したとき点灯します。したがって、SQE TESTスイッチがOFFの場合は、全く点灯しません。

COL (赤)：パケットの衝突が発生したときに点灯します。また、トランシーバーがネットワークメディアに接続されていないとき (例えば、芯線接点がイエローケーブルの芯線に接続されていないなど)、一定周期で点滅します。

C270、C440 シリーズのランプ

本トランシーバーが接続されている装置 (DTE) の電源を投入してください。本トランシーバーに電源が供給されると POWER ランプが点灯します。以下にその他のランプの意味を示します。

TRANSMIT (黄)：DTE がネットワークへパケットを送信しているときに点灯します。

RECEIVE (黄)：DTE がネットワークからのパケットを受信しているときに点灯します。

COLLISION (赤)：送信中にパケットの衝突が発生したときに点灯します。

SQE TEST (緑)：SQE TEST スイッチが ON のときに点灯します。そのスイッチが OFF のときは消灯します。

POWER (緑)：本トランシーバーに電源が供給されているときに点灯します。C440 シリーズには 1 つのみ、C270 シリーズには 2 つの AUI ポートそれぞれに POWER1、POWER2 があります。

製品仕様

準拠規格
　IEEE 802.3　10BASE-5
　Ethernet Version 2.0

電源部(1 ポートあたり)
　定格入力電圧：DC12V
　入力電圧範囲：DC9.53～15.75V
　最大消費電力：3.7W (C100)、4.6W(C200)
　　　6.1W (C270)、7.2W (C440)
　最大発熱量：13kJ/h (C100)
　　　17kJ/h(C200)
　　　22kJ/h (C270)、26kJ/h (C440)

外形寸法(タップ部分、突起部含まず)
　C100：111(W) × 31(D) × 49(H) (mm)
　C200：111(W) × 31(D) × 49(H) (mm)
　C270：164 (W) × 34(D) × 69(H) (mm)
　C440：164 (W) × 57(D) × 69(H) (mm)

質量(タップ部分含まず)
　C100：200 (g)、C200：205 (g)
　C270：240 (g)、C440：370 (g)

環境条件
　動作時温度：0～50℃
　動作時湿度：80%以下 (ただし、結露なきこと)
　保管時温度：- 20～70℃
　保管時湿度：95%以下 (ただし、結露なきこと)

保証

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社　修理受付窓口
Tel: 0120-860-332
携帯電話／PHSからは: 045-476-6218
月～金（祝・祭日を除く）
9:00～12:00　13:00～17:00

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）については、当社は、その責を一切負わないこととします。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレシス株式会社　サポートセンター
http://www.allied-telesis.co.jp/support/info/index.html

Tel: 0120-860-772
携帯電話／PHSからは: 045-476-6203
月～金（祝・祭日を除く）
9:00～12:00　13:00～18:00

使用しているハードウェアについて

* 製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)などのハードウェア情報をお知らせください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に添付されているバーコードシールに記入されています。
  （例）S/N 000770000002346 Rev AA

お問い合わせ内容について

* どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）お知らせください。
* 可能であればエラーメッセージやエラーコード、設定スクリプトファイルをお送りください。（パスワードや固有名詞など差し障りのある情報は、抹消してお送りくださいますようお願いいたします。）

ネットワーク構成について

* ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をあわせてお送りください。
* 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

ご注意

* 本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。
* アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
* 弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

商標について

* CentreCOMはアライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

マニュアルバージョン

1996年 8月 Rev.A 初版
2004年11月 Rev.B 記述訂正

Memo

使用および取り扱い上の注意

安全のために必ず守ってください。

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。

カバーを外さないでください。
本製品のカバーを外したり、本製品を分解したりしないでください。感電や故障の原因となります。

稲妻危険
稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

次のような場所での使用や保管はしないでください。
・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因にもなります）
・腐食性ガスの発生する場所

異物を入れないでください。
本製品の隙間から金属、液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。

取り付け、ケーブル配線は電源を抜いて
本製品の設置、ケーブル配線などの作業を行う場合は、本製品が接続される機器の電源を必ず切ってから行ってください。電源を入れたまま、この作業を行うと本製品を接続する機器の故障の原因となることがあります。

動作温度
本製品は、指定された動作周囲温度の範囲でご使用下さい。動作可能な周囲温度範囲は、この取り扱い説明書に記載されています。特に、本製品をラックの中などでご使用になる場合、換気には十分ご注意ください。

取り扱いは丁寧に
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。

お手入れ
本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。